

令和4年度 環境活動スタート事業

1 実施校

会津若松市立第二中学校（2学年）

2 実施日

令和4年10月12日（水曜日）

3 内容

「The Future We Want=私たちが望む未来=」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

話を聞いてみて、自分は今まで、地球温暖化を甘く見ていたんだなと思いました。また、他人事だ、自分には関係ないと思っていたところがあったので、地球の未来のために、自分にできることを積極的にやっっていこうと思いました。

地球温暖化の影響がすごいことが分かった。私達の住む日本以外の国では、はるかに大きい災害が起こっていて、困っている人がたくさんいるんだなと驚いた。自分にも何か出来ることがないかしっかり考えていきたい。

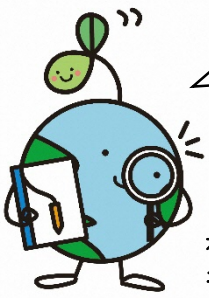
今までは地球温暖化は頭の中にあっただけど、何をしていたか分からなかったです。会津でとれた物を食べているだけでも地球に優しいことをしているのだと思うと、楽しみ半分でも見つけていくといいと感じました。私たちの努力で救われる人もいるのだと改めて思いました。

僕は、最初地球温暖化は、あまり気にしていなかったけど、今回の講演を聞いて、他人事ではないと思ったし、ネットなどの情報は不確かだということも分かって、とても、地球温暖化に関心を持つことができました。

ちょっと気温があがっただけ、ちょっと天気が変わっただけ、ちょっと水面があがっただけじゃすまないようなことが、世界では起きていることが改めて知れた。自分がした事は、良い事でも、悪い事でも地球は応えてくれることも知れて良かった。

キリバスという美しい島国が、地球温暖化による、気象変動や海面の上昇によって、今、危機にさらされていることや、たくさんの命が奪われていること、そして、私達の当たり前だと思っていることが、どれだけ幸せなのかということを知ることができた。そしてこれからは、希望を捨てずに、何事にも挑戦していきたいです。

地球温暖化は、気温が上がってしまってもとても危険なものだと思っていたけど、それだけではなくて人の住む場所も思い出も奪ってしまうようなものだったということを知ることができました。地球にとってはどうなのか、地球を大切にすれば地球がそれに応えてくれるというのを思い出して、地球温暖化に立ち向かっていきたいです。



福島県の地球環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 道に落ちているゴミを拾う

ゴミを分別して捨てるようにしたりちょっとした道に落ちているゴミを拾って捨てたりして、1つゴミを拾うとちょっと地球がきれいになったという気持ちになりとても気持ち良くなりました。



- 節電をする
- 節水もする

家でも手を洗うとき、石けんで洗っている間は、水を止めて使わないときはこまめに止めるようにした。電気も消し忘れのないように一回一回確認した。これからも気をつけて生活していきたいです。



- 徒歩での移動を増やす
- 節電をする

塾に行くときに親に送ってもらわずに自分で歩いていったりしました。節電は、自分が部屋から出る際に、自分以外に人がいなかったら電気を消したりしました。



- ペットボトルをリサイクルする
- ポイ捨てしない
- 歩ける距離の場所は歩く

ペットボトルをリサイクルすることができました。ちゃんとペットボトル本体とラベル、キャップも分別することができました。続けていきたいです。



- 地球温暖化に関心をもって、海外にも目を向けてみる
- 植物をたくさん育ててみたいと思います

地球温暖化に関心を持つことに関しては、インターネットで調べたり、ゴミの分別をしっかりとするということができました。植物は、冬の時期には育てられないので、これからやっていきたいです。

